



2019年1月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第172号

主 小松クラブ会長 明るく・楽しく・前向きに
 湘南・沖縄部部长 心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！
 東日本区理事 為せば、成る
 題 アジア太平洋地域会長 Action!
 国際会長 私たちは変えられる

厚木クラブホームページ：
<http://ys-atsugi.jimdo.com/>



厚木クラブ11月例会の報告

11月28日(水)厚木YMCAにて本例会を行いました。

開会点鐘

ゲスト紹介とあいさつ

太田勝人さん(世田谷)



東京町田スマイリングワイズメンズクラブが発足致しまして設立総会を終了しました。

去年の1月にスポンサークラブとして厚木クラブの参加をお願いをして、今回総会に漕ぎ着けましたので厚木クラブさんに御礼を言いに参りました。ありがとうございました。

松香さん(東京町田コスモス)

新クラブ設立の実行委員長をやらせていただきました。もともと町田には2クラブ存在していました

がいろいろな都合で1クラブとなり、今回新クラブが誕生して元に戻ったという感じです。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

権藤さん(東京町田コスモス)

メンバーとして総会までこぎつけました。

聖書朗読、食前感謝、会長報告

厚木クラブから報告

・湘南・沖縄部でも新クラブ設立の話が出ています。これは部がスポンサーになるという画期的な手法をとっていますし、新クラブの入会金は部の方で負担します。

・来年度の湘南・沖縄部の部長は沖縄クラブから選出します。評議会では検討して旅費などの費用を部で補助することにしました。具体的な金額についてはまた報告します。

・2月16～17日で沖縄への部長公式訪問があります。

新クラブ協力金の贈呈



太田さん挨拶

ありがとうございます有効活用させて頂いてクラブ発展に有益に使わせていただきます。2月24日

例会データ	11月	在籍会員	17人
会員	13人	メイキャップ済み	人
ビジター	1人	出席率	76%
ゲスト	3人	ロバ	
合計	17人		8,936円

にチャーターナイトを行う予定です。ローコストで質素に行いますが温かい気持ちで行いたいと思います。

12月のクリスマス例会の説明(田口さん)

資料に沿って説明していただきました。12月6日までに申し込みをしてください。

誕生日のハッピーバースデー、シングソングタイム、フィットネス、閉会点鐘

Y-Y's 協議会参加報告

2018年11月17日(土)に湘南・沖縄部の評議会が横浜中央YMCA501号室で行われ、小松会長と堀田が出席しました。

以下の議題について活発な意見交換と協議が行われ、有益な結論が得られました。

特筆は沖縄選出の次期部長の交通費について部から15万円ほど拠出することになりました。これは将来にわたって実例になります。

第1号議案 次期部役員の選出承認について

第2号議案 次年度部運営について

第3号議案 次次期部長選考について

第4号議案 CS支援金について

第5号議案 新クラブ設立に関する支援について

第6号議案 予算の一部修正について

第7号議案 湘南・沖縄部合同新年会開催について

第8号議案 沖縄への部長公式訪問について

拍手で承認。詳細議事録は部Hpを参照してください。

厚木ワイズメンズクラブクリスマス会と子ども食堂参加報告

12月8日(土)12時~15時厚木YMCAで厚木YMCA子ども食堂&クリスマス会が開かれ、ワイズからも協力参加させていただきました。

おいしいランチを提供し、ゲームなどを行い、クリスマス礼拝を行いました。続いてクラブの鈴木茂ワイズと横濱クラブの古賀ワイズにも参加していただき、終了後引き続き厚木ワイズのクリスマス祝会にご参加いただきました。

厚木クラブの小林(秀)ワイズによる紙芝居も実施しました。



15時から厚木クラブクリスマス祝会を行いました。

讃美歌は小松会長のトランペット伴奏、聖書朗読。祈祷。

ビジター紹介

鈴木茂さん古賀健一郎さん

小林秀さんの提供された赤ワインで乾杯。

乾杯の音頭は小松会長です。

卓話「クリスマスとは何だろう」



川口さんに卓話をさせていただきました。

キリストは12月25日に生まれたんでしょうか? 多分そうではなく、9月下旬から10月上旬に生まれたと言われていています。そして生まれたのは馬小屋でなく、家畜小屋だと考えられます。その当時のユダヤでは馬は珍しく、飼われていたのは羊やロバなどの家畜だったからです。

イスラム教徒はクリスマスのお祝いはいしません。なぜかと言うとユダヤ教の聖典はコーランであり、モハメッドが救い主です。ユダヤ教もまだ救い主が現れていないということでクリスマスのお祝いはい

ません。

サンタクロースは東ローマ帝国の聖人であるセントニコラウスが語源であると考えられます。サンタクロースの衣装は赤色です。というのは司祭が赤の司祭服を祝日に着るので、それにちなんでいるそうです。アメリカではクリスマスツリーの下にプレゼントを置きますが、小さい家には大きなツリーはとも入りません。そこでセントニコラウスが貧しい家へのプレゼントとして煙突から金貨を投げ入れ、それが暖炉のそばの靴下に入ったといういわれから小さな家ではプレゼントを入れるものとして靴下が使われたそうです。サンタクロースはトナカイ 8 頭立てのそりに乗って出発します。それぞれのトナカイにはちゃんと名前があって、先頭はルドルフといいます。

プレゼント交換、メンバーの一言

森田さん

今年は息子が焼き鳥の店を開店しました。小さい 20 席ほどの店です。月 2 回ぐらい様子を見に行っています。



日下部さん

パペット劇を行いました。

石川さん

しばらく東山荘に研修に行っておりました

川口さん

去年は三途の川を渡り損ねました。しかし神のご加護と皆様に支えられて元気になりました。来年も頑張ります。

田口さん

イスラエルへ観光旅行した際、イエスが最初の奇蹟を行ったことで有名なカナを訪れ、立ち飲みやにイエスの時代の甘い葡萄酒と称するものがあり、飲

べいの私は飲みたいと思いましたが、あまりに不潔そうなので断念、今も試飲すべきだったと後悔してます。

石井さん

一つ嬉しいことがありました。

久しぶりに会った知人が家を解放して場所を提供し、お話し会をしてもらっています。

その方は病気ですが、元気に子ども達と一緒に笑顔で暮らしていますという話でした。

佐藤節子さん

湘南・沖縄部の部長をやらせていただいております。皆さんにはお世話になっております。ありがとうございます。それと私の孫が大相撲の部屋に入門をいたしました

小林美智枝さん

健康体操をやっています。歌を中心とした活動もしております。これからもよろしくお願ひいたします

小松会長

無くした結婚指環が出てきました。

鈴木茂さん

子ども食堂を見学をさせていただきました
東山荘でステップ 3 の講師をしなければいけません。
今いろいろと考えております

古賀健一郎さん

横浜クラブに所属しています。今日はこども食堂で美味しい食事を頂きました。小林さんの紙芝居が最高でした

堀田

私の身の回りで少し不幸が起きておりますので捕食するために女の朝を歌います

小林秀さん

神様は万物を想像しましたがそれぞれの寿命を与えました。動物たちは長い寿命はいらないと返しました。でも人間はもっとが欲しいと言ったくさんの寿命を神様からもらいただけで本来の寿命すぎたら大変な難行苦行が待っておりました。

これからの超高齢化社会を私はどのように生きてらいいのかが課題です。

徳沢さん

父は 93 歳で天に召されました。
来年孫がもう一人できます。これからも宜しくお願

致します。

きよしこの夜をみんなで歌って解散しました。最後は小松会長のトランペットで閉めました。



例会データ	12月	在籍会員	17人
会員	11人	メイキャップ済み	人
ビジター	0人	出席率	65%
ゲスト	2人	ロバ	
合計	13人		****円

二次会は中華料理店「慶福楼」で行いました。鈴木茂さんにも来ていただき大変盛り上がりしました。

1月クラブ活動予定

- 1月5日 在京合同新年会
- 1月9日 ホサナ餅つき
- 1月12日 Y-Y's 合同新年会
- 1月21日 会員事業委員会
- 1月23日 Y's 例会

幹事より一言

「和を以て貴しとなす。さからう事なきを宗となす」。これは聖徳太子の十七条の憲法、第一条の冒頭の言葉です。1年間を顧みて、森友学園、アメフト、ボクシング、体操、相撲協会など、団体の内部での争いの目立った年でした。膿を出すには必要であったのかもしれませんが、もっと良い方法があったのではと考えさせられました。団体の運営には議論は必要でしょう。でも、ワイズではもっとわだかまりのない議論をしたいものです。

厚木YMCAより

みつかる。
つながる。
よくなっていく。



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

世界 119 の国と地域にある YMCA。YMCA の国際協力は、世界につながる YMCA と共に難民支援、コミュニティ支援、災害支援、そして国際理解のための活動を行い、多様な文化や価値観が存在する世界で一人ひとりが大切にされ、平和な社会を目指します。

12月11日(火)には、「横浜 YMCA 国際・地域協力募金」のための募金活動の一環として、YMCA あつぎ保育園ホサナのオレンジ(4歳児)組、パイナップル(5歳児)組の子どもたちと YMCA 健康福祉専門学校こども総合科3年生が、一緒に小田急線本厚木駅前に街頭募金に立ちました。YMCA 健康福祉専門学校では毎年、学生による募金委員会を中心に企画をし、留学生を含めたすべての学生がこの街頭募金に参加しています。ホサナでも、子どもたちと一緒に出発前と戻って来たあとに、世界で困っている人たちを支援するために、私たちができること、そのための募金活動であることをお話ししました。

当日は冷たい北風が吹く本厚木の駅前に立って、道行く人たちに協力を呼びかけました。子どもたちと学生たちが募金を呼びかける声は、本厚木駅前に大きく響き、たくさんの人たちが募金に協力してくださいました。街頭募金は30分ほどでしたが、25,828円もの募金が寄せられました。YMCAの国際協力活動を支えるための募金です。一人ひとりの思いが支援につながります。横浜 YMCA の国際・地域協力募金のリーフレットには「笑顔につながる小さな一歩」という言葉があります。募金は届けられる先の方々の笑顔はもちろん、街頭にたつ私たちや、募金に協力してくれる方たちの、「誰かのために」という優しさの笑顔にもつながっているように思います。ぜひ一緒に、笑顔につながる小さな一歩をふみだしましょう。